

父母説明会資料 3年生向け



応用バイオ科学科
学科長 飯田泰広

応用バイオ科学科の5つの教育目標

①人間性豊かな
人材育成

・ 全人教育

②実社会で即戦力
となる人材育成

・ 実学重視

応用バイオ
科学科

③国際社会に対応
可能な人材育成

・ 国際性の涵養
・ 海外体験教育

⑤チャレンジ精神

・ 困難や変化に立ち向
かっていける人材育成

④地域社会との連携

・ 地域社会・地球社会に
貢献できる人材育成



応用バイオ科学科

生命科学
コース

40名

生命現象の解明

科学(基礎)志向型

応用バイオ
コース

85名

バイオ技術者の養成

開発(応用・実学)志向型

理

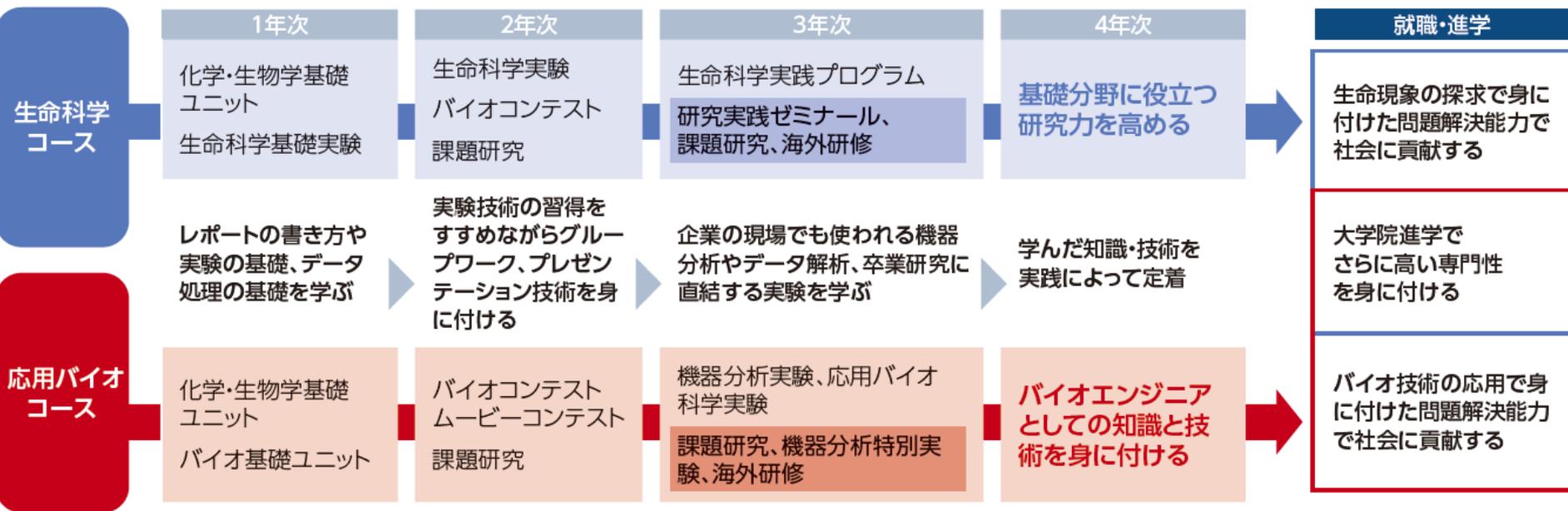
工

農

医生命科学特別専攻コース
(特待生制度)



充実したアクティブラーニングプログラム



バイオサイエンスセンター

高度で先進的な実験設備を備えた、研究者をめざす人の学ぶ意欲にも応える施設。
「食品衛生管理者」など資格試験の対策にも対応できる機器を設置しています。

◆ 設置施設

バイオ実験室A・B・C / 機器分析室A・B / バイオ演習室 / クリーンベンチ室 / 食品加工室 / 遺伝子実験室 / 微生物実験室 / 植物培養室 / 動物飼育室 / 動物細胞培養室 / 水生動物室 / 低温室 / 培養室 / 植物工学センター

◆ 実験設備

DNAシーケンサー / プロテインシーケンサー / リアルタイムPCR装置 / PCR装置 / アミノ酸分析装置 / ゲル解析装置 / 共焦点レーザー顕微鏡 / 走査型プローブ顕微鏡 / フローサイトメトリー / マルチプレートリーダー / 生化学分析装置 / UPLC-TOF-MS / GC-MS / ICP発光分析装置 / 培養装置 (コンピューター制御) / クリーンベンチ など



バイオメディカル研究センター

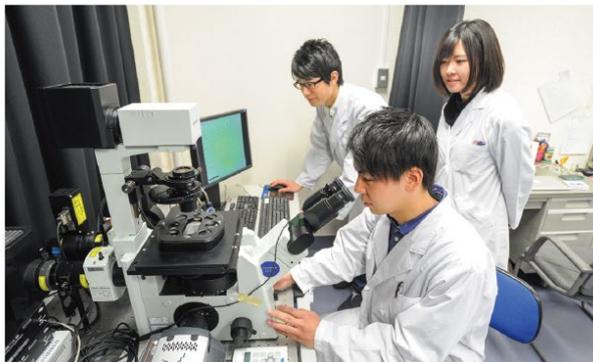
最先端の高度な研究機器を備え、
医薬品開発や医療技術開発の基盤
研究に取り組める施設です。

◆ 設置施設

生化学実験室 / 顕微鏡室 / 低温実験室

◆ 実験設備

等温滴定型カロリーメトリー / Biacore / インキュベータ蛍光顕微鏡 (タイムラプスイメージングシステム) / セルソーター



卒業生が活躍している企業 (順不同)

- 秋本食品(株)
- アサマコーポレーション(株)
- アツギ(株)
- 越後製菓(株)
- カネ美食品(株)
- 関東化学(株)
- (株)紀文食品
- 協和発酵キリン(株)
- (株)江東微生物研究所
- ジーエルサイエンス(株)
- (株)シーボン
- (株)スリーボンド
- 第一屋製パン(株)
- 中外製薬(株)
- 月島テクノメンテサービス(株)
- 東洋合成工業(株)
- (株)中村屋
- 日東ベスト(株)
- (株)日本色材工業研究所
- 日本電子(株)
- 日本農産工業(株)
- 長谷川香料(株)
- ファンケルグループ
- フジパングループ
- 水ing(株)
- 三菱化工機(株)
- メルク(株)
- 森永乳業(株)
- (株)ヤマザキ
- (株)雪国まいたけ
- 横浜冷凍(株)
- リコージャパン(株)
- レイズネクスト(株)
- ロシュ・グイアグノスティックス(株)
- わかもと製薬(株)
- 金融機関(北都銀行、横浜信用金庫など)
- 地方自治体職員(富士宮市など)
- 中学、高校教員
- 大学職員(秋田大学、東海大学など)
- 大学教員(東京大学、東京女子医科大学など)

他

大学院進学

※本学科教員による卒業研究指導学生の大学院進学実績

- 本学大学院
- 他大学大学院
- 北海道大学大学院
- 東北大学大学院
- 筑波大学大学院
- 千葉大学大学院
- 東京大学大学院
- 東京農工大学大学院
- 東京都立大学大学院
- 横浜国立大学大学院
- 横浜市立大学大学院
- 山梨大学大学院
- 静岡大学大学院
- 富山県立大学大学院
- 奈良先端科学技術大学院大学

他

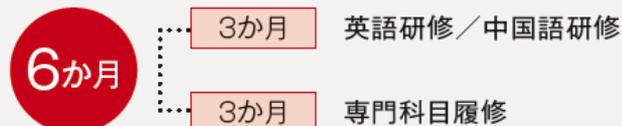
海外留学プログラム

国際感覚を持った人材育成のため、短期(1か月)・長期(6か月)で「海外バイオ研修」を実施。バイオのための語学教育からステップアップし、最終的には英語や中国語でバイオ技術を身につけることを目的としています。また、世界の人々と交流を深め、見識を広げることも目標のひとつです。休学しないで、長期留学(半年)できるカリキュラムは、国内の理系大学では非常に珍しいプログラムです。

短期 海外バイオ研修I



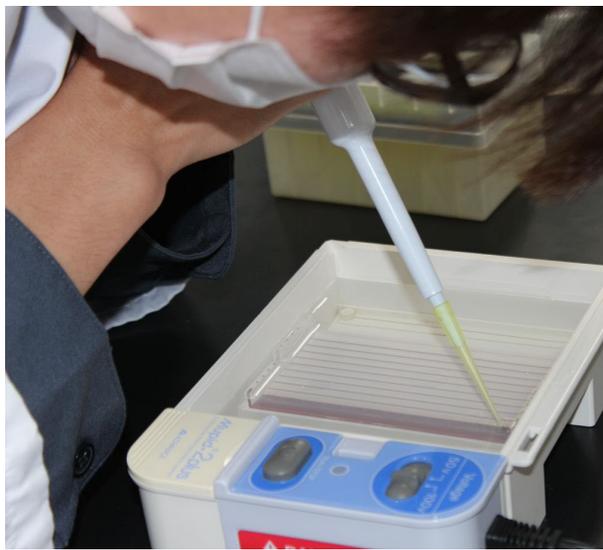
長期 海外バイオ研修II



実験実習の様子



↑
Twitter の
QRコード



応用バイオ科学科の教職員（2022年度）

教員	3年 クラス担任	クラスアドバイザー	教務委員	学生部委員
	1組：野田 毅	藤村 陽	・仲亀誠司	・小澤秀夫
	2組：清水秀信	山本 聡	・和田理征	
	3組：山村 晃	兒玉 健	・山下直也	

- ・市村重俊
- ・小池あゆみ
- ・和田善成

- ・井上英樹
- ・村田 隆
- ・飯田泰広

- ・岩本 嗣
- ・山本一徳

- ・栗原 誠
- ・依田ひろみ

技術職員：宮下里美

学科事務：大貫章貴

就職事務：鈴木紫乃

計23名

バイオ科メンバー：学部生、大学院生（408名）

応用バイオ科学科では「保護者の方々」、「学生諸君」、「教職員」の三者が力を合わせ、学生諸君が充実した大学生活を送れる学科にしたいと考えております。



質問・相談等ありましたらご連絡ください。

bkyoumu@ml.biokait.jp



父母説明会資料（教務関係）
3年生向け

応用バイオ科学科



卒業に向けて

- 卒業研究（卒研）着手に必要な単位数について
- 卒業に必要な単位数について



卒業に向けて、計画的な履修が必要です。

●3年終了次までに所定の単位数と条件科目を修得しておかないと、卒業研究の履修ができない。



●卒業研究履修要件 合計 104単位以上

●卒業要件 合計 124単位以上

履修要綱に記載されています。

	標準	黄信号	赤信号
3年前期終了時：	108単位	90単位	80単位
後期終了時：	120単位	104単位	

4年次に受講する授業

卒業研究 … 6単位， 輪講 … 2単位 計8単位

この8単位以外は3年次に取得しておくことが望ましい。



卒研着手要件について



応用バイオ科学コース（Bコース）： 卒研着手要件

3年次終了時の必要単位数 104単位（共通基盤教育：26単位以上を含む）	
修得していなければならない科目	
スタディスキル、情報リテラシー キャリア設計、キャリア開発	4科目
英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ 英語Ⅳ、英語Ⅴ、英語Ⅵ	6科目中 3科目
物理・化学ユニットプログラム 化学・生物学基礎ユニットプログラム バイオ基礎ユニットプログラム バイオ機器分析ユニットプログラム	4科目
バイオ工学基礎 生化学入門 分析化学 有機化学 生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ	食品化学・微生物学実験 生化学実験 応用バイオ科学実験 生化学Ⅰ、生化学Ⅱ 機器分析実験
	12科目中 10科目



生命科学コース（Lコース）： 卒研着手要件

3年次終了時の必要単位数 104単位（共通基盤教育：26単位以上を含む）		
修得していなければならない科目		
スタディスキル、情報リテラシー、身の回りの数学、実感する科学Ⅰ キャリア設計、キャリア開発、現代社会講座	7科目	
英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語Ⅲ 英語Ⅳ、英語Ⅴ、英語Ⅵ	6科目中 3科目	
物理・化学ユニットプログラム 化学・生物学基礎ユニットプログラム 生命科学基礎ユニットプログラム	3科目	
微分積分学Ⅰ-c 基礎力学Ⅰ-a、Ⅱ-a 生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ 有機化学 進化生物学Ⅰ、進化生物学Ⅱ	基礎化学Ⅰ-a、Ⅱ-a 基礎電磁気学Ⅰ-a バイオ物理化学Ⅱ 生物統計学基礎	13科目中 11科目
細胞生物学 発生生物学基礎 神経生物学 生物有機化学 分子生物学 データサイエンスプログラム入門	統計データ解析基礎 生命物理化学 食品化学・微生物学実験 応用バイオ科学実験 生化学Ⅰ、生化学Ⅱ 生命科学実験Ⅰ、生命科学実験Ⅱ	14科目中 11科目



卒業要件について



応用バイオ科学コース（Bコース）： 卒業要件

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通基盤教育	導入系	必修	1	
	倫理系	必修	2	
	人文社会系		必修	2
		a群	選択	4
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2
	健康・スポーツ系		選択	1
	英語基礎系		選択	4
	言語応用系		選択	3
	数理情報系		必修	6
キャリア系		必修	3	
		(小計)	(32)	
専門教育		必修	46	
		選択	30	
		(小計)	(76)	
任意			16	
合計			124	

*注1



生命科学コース（Lコース）： 卒業要件

教育区分		必選別	卒業必要単位数	
共通基盤教育	導 入 系	必修	1	
	倫 理 系	選必	2	
	人 文 社 会 系		必修	6
		a群	選択	2
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	健康・スポーツ系	選択	1	
	英 語 基 礎 系	必修	8	
	言 語 応 用 系	必修	6	
	数 理 情 報 系	必修	2	
	キ ャ リ ア 系	必修	6	
		(小計)	(38)	
専 門 教 育	専 門 基 礎 導 入	必修	17	
	専 門 基 礎	必修	11	
	専 門	必修	41	
		選必	2	
		選択	15	
			(小計)	(86)
合 計			124	



応用バイオ科学科 教務委員連絡先

卒業のために必要な単位等についてご不明な点があれば、以下のメールアドレスに、ご連絡下さい。

bkyoumu@ml.biokait.jp

教務委員：仲亀 誠司, 和田 理征, 山下 直也

